



Photo:Hikaru.☆

STAFF'S VOICE 劇場を支える人々

東京芸術劇場は、多くのスタッフに支えられて運営がなされています。
お客様が気持ちよく来館され、舞台芸術の魅力を存分に味わって
いただくために、陰ながら劇場運営を支える様々なスタッフ・・・
今回はそんなスタッフたちの声を、少しだけご紹介させていただきます。

劇場の顔 受付・案内

「受付は“劇場の顔”です。公演を楽しみにご来館されるお客様一人一人が、劇場に来て良かった、また来たいと思って頂けるよう、常に丁寧な対応を心掛けております」

「劇場には、たくさんの異なる世代の方、国籍の方がいらっしゃいます。受付では、館内のことだけでなく、近所においしい店がありますか?とか、スカイツリーへはどのようにして行けばいいの?といったことをお尋ねになるお客様もいらっしゃいます。その際は、インターネットで調べるなど、お客様の要望に対して、なるべくお応えするようにしています」

「劇場には、もっと気軽に、いらしていただきたいです。また、私達も来館の皆様が、少しでも快適に劇場での時間を過ごしていただけるよう、心地良い対応に神経を配り、これからも業務にあたっていききたいと思えます」

劇場の心臓部 舞台管理

「開館以来20年以上に渡り、この仕事をしています。リニューアル後は、プロデューサー型劇場の舞台スタッフとして、使用する道具を製作したり、演出部として、演劇やオペラなどの作品づくりに参加することもあります」

「演出家やデザイナーの方々のおさまざまな要望に対し、機構・技術的にできることとできないことがあります。難しい場合は、別の選択肢を多くご提案し、できるだけ演出意図に沿った作品に仕上がるよう、柔軟な対応するよう心掛けています」

「舞台には、多くの機材や道具が吊らされていたり、暗く、見えにくい所もあり危険がいっぱいです。事故が起きないように、安全確保に神経を使っています」

「楽日の公演が終わり、バラシ(片付け)している時に『ありがとう!お疲れ様でした!』と声を掛けていただいた時には、今までの苦労も忘れるほど嬉しくなります」

劇場の生命線 清掃・警備・設備

「劇場の清掃は、開館前、公演の切り替え時など、お客様のいらっしゃる限られた時間で、いかにきれいにできるかが勝負。劇場内はもちろん、駅に隣接して人通りが多い外周も含め、目配り、手配り、気配りをモットーに清掃をしています」

「警備は、来館者の安全と安心を確保することが何よりも大切。車椅子の方への応接や、体調不良を訴える方の応急処置なども行っています。事故もなく、一日が平穩に終わる時が一番ほっとする瞬間です」

「設備は、劇場内の電気、空調、衛生を管理しています。特殊電圧の電源なども必要とする劇場施設では、“安定した電源供給”は欠かせません。それができないと、美しい照明効果も、高品質な音の再生もできないからです。用途や目的の異なる各施設の湿度や温度を適切に保つことも大切。演者のみなさんやお客様が少しでも快適に過ごしていただけるよう、縁の下の力持ちとして、これからも頑張ります」

大都市東京・池袋西口の駅前に立地し、今年で開館25周年を迎える東京芸術劇場。
価値観の違う人々が集い、交わり、そして心が通い合う劇場を目指し、スタッフ一同、
まだまだ精進を続けていなくては。今後とも「芸劇」をよろしく願います!



障害をお持ちの方への鑑賞サポート

東京芸術劇場では、目や耳が不自由な方に舞台を一層楽しんでいただけるよう、一部の公演で下記サービス(無料・要事前申込)を実施しています。対象公演は劇場HP等で随時ご案内いたします。障害者割引と併せてぜひご利用ください。

【視覚障害者のための舞台説明会】目の不自由なお客様に、舞台装置や登場人物などについて開演前にご説明いたします。

【聴覚障害者のためのポータブル字幕機提供サービス】耳の不自由なお客様に、台詞や音の情報をお手元でご覧いただけるポータブル字幕機をお貸しします。

<http://www.geigeki.jp/access/support.html>

芸劇 鑑賞のサポート

検索

※障害者手帳をお持ちの方が対象となります。
※障害者割引は公演により設定のない場合もございます。